

入れることにより、本質的な授業ができると考えられる。

研究のねらいを具体的にあげると次のようになる。

- ① 学年のわくをはずした集団の再編成による教授過程を確かめる。
- ② 教授過程における教師の役割・分担とその活動を確かめる。

(2) 題材名 「小ぎつね」 4 時間（本時は4）

(3) 目標

- ① 歌詞の内容を理解して表現をくふうさせ、楽しく歌うことができるようにする。
- ② ハ長調の視唱力をいっそう伸ばす。
- ③ 旋律楽器やリズム楽器の組み合わせになれる。
- ④ 合奏譜の見方になれる「ま」の奏法を理解で

きる。

- ⑤ 指揮者を見て合奏する能力を養う。
- ⑥ 合奏の楽しさを味わうことができる。

(4) 児童の実態

- ① 3 年生 17名, 4 年生 15名 計32名
- ② ハーモニカ, 笛, 木琴は個人持ちで全員持っている。
- ③ ピアノ習っている者 1 名
- ④ 家にオルガンのある者 9 名
- ⑤ 合併授業を実施後, みんなで演奏する楽しさがわかり, 積極的に学習する姿が見られる。

(5) 指導計画

- ① 題材名 「小ぎつね」
- ② 本時のねらい
リズム伴奏をくふうさせ, みんなで楽しく演奏する喜びを味わう。

③ 教授過程

段階	学習内容の活動	時間	教 授 と 分 担		形態	反応と評価	準 備
			T c	T d			
感受 表現	1. 既習曲を歌う ・おほしが光る ・夜汽車 2. 学習のめあてをつかむ	5	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏をする ・楽しく歌えるように児童を観察しながら伴奏する ・学習のめあてを板書する ・確認された力をみる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">リズム伴奏のくふう まとめの合奏</div>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 指揮をする ・既習曲のおほしが光る 夜汽車を歌わせる 2. 学習のめあてを指示する ・リズム伴奏をくふうすること ・まとめの合奏することを話す 	大		楽譜
	3. リズム伴奏をくふうする ・リズムかえ ・楽器の組み合わせ	15	<ul style="list-style-type: none"> 3. リズム伴奏をくふうさせる ・はじめの4小節を大だいこのリズムに組み合わせリズムかえさせる <div style="text-align: center;"> $\frac{2}{4} \begin{array}{c} \downarrow \uparrow \\ \uparrow \downarrow \end{array} \mid \begin{array}{c} \downarrow \uparrow \\ \uparrow \downarrow \end{array} \mid \begin{array}{c} \downarrow \uparrow \\ \uparrow \downarrow \end{array} \mid \begin{array}{c} \downarrow \uparrow \\ \uparrow \downarrow \end{array} \mid$ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の組み合わせをくふうさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムかえや組み合わせの理解度をみる(反応) ・リズムを引き出させるため大だいを打つ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">リズムかえができたか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">楽器の組み合わせができたか</div>	大		ハンドカスタ タンプリン トライアングル スズ 大だいこ